

【主催】日本作業療法士協会

認知症リハビリテーションの推進のための 調査研究事業 報告会

参加費無料
会員限定

【背景】

協会では、令和4～6年度老人保健健康増進等事業を受託し、訪問による認知症に対するリハビリテーションの効果的な実践方法の検証を行い、研究の成果等を関連団体へ周知をしている。

【目的】

認知症のリハビリテーションを広く周知し、作業療法士の確実な実践を促進すること、訪問リハビリテーション等の体制構築の提案を目的とし、管理者（作業療法士）と訪問リハビリテーションに従事する作業療法士を対象に、令和6年度老人保健健康増進等事業「認知症リハビリテーションの推進のための調査研究事業」の報告会を開催する。

内容

1. 報告会の対象：訪問リハビリテーション事業所の機能がある医療施設、介護保険施設等の管理者および訪問リハビリテーションに従事している作業療法士
※会員でありましたら、どなたでも申込は可能です
2. 方法：Web開催（Zoomミーティングルーム）
3. 日時：下記参照
4. 参加費：無料
5. プログラム
 1. 2025年度の協会重点活動の紹介
 2. 老健事業の取り組み、成果物の紹介
 3. 訪問による認知症のリハビリテーションの紹介

開催日

① 2025年 7 月 9 日 水 18:00 ～ 19:00

② 2025年 8 月 6 日 水 18:00 ～ 19:00

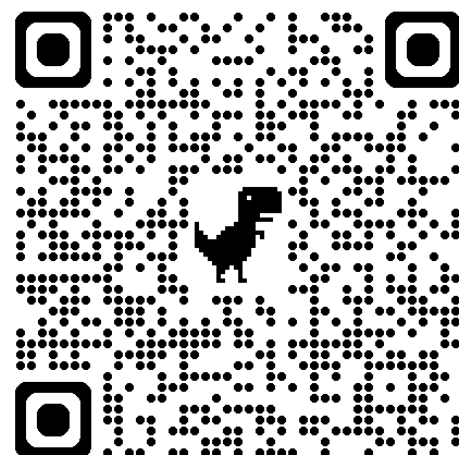
申し込みフォーム

下記URLまたはQRコードより
お申し込みください。

▶ <https://forms.gle/tUq6CEy9z7xyn2aq5>

お問い合わせ：制度対策 ot_seido@jaot.or.jp

※お申し込み後に欠席される場合のご連絡は不要です



日々の暮らしを続けるために。認知症のリハビリテーションがあります。

環境を整備する

時間を把握しやすくなる時計や、スイッチを見やすくした家電など、暮らし周りの「もの」に工夫をすることで、できるようになる生活行為があります。

繰り返しの練習する

環境を整えたうえで、生活行為を練習します。繰り返しの練習することで、暮らしのなかで定着していきます。

より良い関わりをつくる

ご家族や支援者の声のかけ方やタイミングも大切です。ご本人を支え、ご家族も楽になる方法を考えていきます。



認知症のリハビリテーションとは、「実際に生活する場面を念頭に置きつつ、有する認知機能等の能力をしっかりと見極め、これを最大限に活かしながら、ADL(食事、排泄等)やIADL(掃除、趣味活動、社会参加等)の日常生活を自立し継続できるよう」*に進めていくことです。医師の指示のもと、医学的評価に基づいて私たち作業療法士が暮らしの場を訪問して生活の状況をアセスメントし、お一人お一人の状態に応じた計画を立て、自立した日常生活の継続を支援していきます。

*2015年「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者にやさしい地域づくりに向けて～(新オレンジプラン)」

このリーフレットは令和4年度老人保健健康増進等事業「訪問による効果的な認知症リハビリテーションの実践プロトコルの開発研究」で作成しています。



一般社団法人
日本作業療法士協会
Japanese Association of Occupational Therapists